

関東学院大学公開講座 「55歳からの起業チャレンジ」 (1回目)開催レポート



公開講座での西端氏

関東学院大学で開催された公開講座「55歳からの起業チャレンジ」。今回、講師を務めたのは、LTRメンバーでもある中小企業診断士の西端望（にしべり・のぞむ）氏です。40代後半に大手精密機器メーカーを退職後に起業、「自分が本当にやりたいことが見つかるかどうか」が起業のポイントだ」と話す同氏の講座は、どのような内容だったのか？ 参加者の反応は？ LTR 通信の誌面では、全2回の1回目の開催レポートをお届けします。

(※2回目のレポートは、Webにて公開。右下のQRコードよりご覧ください)

■日時：2024年11月2日(土) ■参加者：約20名(社会人から定年退職を控えた方々まで幅広い層)

「起業してよかった」と心から思っている

2011年、私は46歳で中小企業診断士の資格を取得し独立。その後、13年にわたり行政の専門家などを経験し、現在は数社の顧問先を持つコンサルタントとして活動しています。そんな私の経験から、まず「起業についての話」をしました。

企業内診断士から「独立したほうが良いか？」とたびたび相談されるのですが、自らの経験から、起業の本質は「安定」ではなく「人生を豊かにすること」にあります。実際、単調な会社員時代とは違い、毎日が新しい挑戦の連続で、非常に充実しています。

「起業の極意」とは何なのか

自分が本当に情熱を持てるもの、心の底から追求したい、やりたいと感じるものを見つけることが「起業の極意」であり、実現すれば、起業への道は自然と開かれてゆきます。

そのためには、まず自己肯定感を高めることが重要です。自己肯定感を高めることで、周囲の協力を得やすくなり、自分の歩む道が驚くほどスムーズに開けてゆきます。まるで「自動操縦」のように物事がうまく運ぶのです。こうした自己肯定感は、自分のすべてを認め、ありのままを受け入れることで培われます。

「自己肯定感を高める」方法

自分の周りで起きている出来事はすべて必然であり、自分の方だけでは人生をコントロールできないと理解することが、自己肯定感を高める第一歩です。すべては「生かされてい

る自分」という視点で受け入れることで、潜在意識からの力を得ることができます。自己肯定感が高まると幸福感が増し、周囲も明るくなり、仕事や依頼が自然と増えてゆきます。

「自己肯定感を高める」ワーク

自分の体験談の次は、「自己肯定感を高める」ためのワークを行いました。

自らのポジティブな側面もネガティブな側面も受け入れるプロセスを通じて、自分がどんな存在かを新たに発見するこのワークで、参加者の皆さまは、私自身の経験を1日で体験！「自分は素晴らしい存在であり、良いことが起きる」という気付きを得ると同時に、自分の中にある「不幸だと思っていること」「嫌な出来事」「後悔する経験」も含め、すべてが自分自身であると知ることを皆で目指しました。

ワークを終えた後に感想を聞くと、「とても楽しかった」「自分をより深く知ることができた」といった声が多く、皆さま、満足そうな表情を見せてくれました。

自分のすべてを受け入れること、すなわち自己肯定感を高めることで、周囲の応援を得られ、ひいては起業の極意へとつながってゆく。ワークを通じて、自己肯定感が高まる喜びを感じていただけて、非常に充実した時間になったと思います。

(中小企業診断士 西端望)

西端氏の事務所
HPはコチラから
→



公開講座(2回目)
開催レポートは
コチラから→

